

第4回子ども樹木博士リーダー交流会（概要）

平成18年12月2日（土）13:30～17:00

日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）

参加者：17団体・60人

1 はじめに、当協議会の会長である日本大学の木平勇吉先生から開催に当たっての挨拶があり、以降、木平会長の司会進行により進められました。

2 ご来賓としてご出席いただいた林野庁計画課森林総合利用・山村振興室の廣田明室長から、ご挨拶と合わせ、ご持参いただいた冊子「森林への招待状」をもとに森林環境教育の推進についてのお話をいただきました。



3 活動報告では、

藤沢市立小糸小学校の篠崎明子先生から、日本大学の学生さんをインストラクターとして、当小学校で実施している「生きもの博士」（子ども樹木博士）の実施状況について、

自然教育研究センター・インタープリターの小川結希さんから、奥多摩の「山のふるさと村ビジターセンター」におけるプログラムやその実施状況、子どもたちへの対応等について、

日本大学大学院の長田知之さんから、前記での実施も含め、日本大学が実施している子ども樹木博士のいわゆる「出前授業」の実施状況について、それぞれご報告等をいただきました。大変に興味深いものがありました。

4 次に，交流会今回の野外プログラムとして，参加者全員が1グループ当たり6～7人の9グループに分かれ，日本大学の学生さんの案内により大学構内の樹木を使って実習を行いました。それぞれのグループが目指す樹木を決めて，1時間程度の樹木ミニツアーを行うとともに，ナンキンハゼ，ケヤキ，トウカエデなどの紅葉を収集し，パウチによる標本をつくりました。



5 最後に，参加者全員により，先の活動報告を中心にして意見交換等を行いました。小学校でのより具体的な実施についての質問や意見，特に，学校の先生がもっと樹木のことを話せるようになることが必要であるとか，大人は知識を求めるが子どもには感動を与えるような対応が必要であるとか，小集団だと子ども一人ひとりの興味や関心が引き出せるといった活発な意見交換等が行われ，予定した1時間が瞬く間に過ぎた感がありました。